

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質									3.1
Q1 室内環境					0.40	-	-		3.4
1 音環境				3.0	0.15	-	-		3.0
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40	3.0	-		
1.2 遮音				3.0	0.40	-	-		
1 開口部遮音性能				3.0	0.60	3.0	-		
2 界壁遮音性能				3.0	0.40	3.0	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	-	3.0	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	3.0	-		
1.3 吸音				3.0	0.20	3.0	-		
2 温熱環境				3.1	0.35	-	-		3.1
2.1 室温制御				3.3	0.50	-	-		
1 室温				3.0	0.38	3.0	-		
2 外皮性能				3.0	0.25	3.0	-		
3 ゾーン別制御性		ゾーン別に冷暖房の選択が可能		4.0	0.38	-	-		
2.2 湿度制御				3.0	0.20	3.0	-		
2.3 空調方式				3.0	0.30	3.0	-		
3 光・視環境				3.7	0.25	-	-		3.7
3.1 昼光利用				2.4	0.30	-	-		
1 昼光率				2.0	0.60	3.0	-		
2 方位別開口				-	-	3.0	-		
3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0	-		
3.2 グレア対策				4.0	0.30	-	-		
1 昼光制御		ブラインド+庇による昼光制御		4.0	1.00	3.0	-		
3.3 照度		全般照明で500lx以上1000lx未満		4.0	0.15	3.0	-		
3.4 照明制御		1作業単位の制御可能、自動点滅・人感センサ採用		5.0	0.25	3.0	-		
4 空気質環境				3.8	0.25	-	-		3.8
4.1 発生源対策				4.0	0.50	-	-		
1 化学汚染物質		全面的にF☆☆☆☆の建築材料を採用		4.0	1.00	3.0	-		
4.2 換気				3.3	0.30	-	-		
1 換気量				3.0	0.33	3.0	-		
2 自然換気性能		有効開口面積が床面積の1/30以上		4.0	0.33	3.0	-		
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.33	3.0	-		
4.3 運用管理				4.0	0.20	-	-		
1 CO ₂ の監視				3.0	0.50	-	-		
2 喫煙の制御		全館禁煙		5.0	0.50	-	-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-		3.8
1 機能性				3.8	0.40	-	-		3.8
1.1 機能性・使いやすさ				3.3	0.40	-	-		
1 広さ・収納性		2階署事務室・3階本部事務室: 執務スペース9㎡/人以上		4.0	0.33	3.0	-		
2 高度情報通信設備対応				3.0	0.33	3.0	-		
3 バリアフリー計画				3.0	0.33	-	-		
1.2 心理性・快適性				4.3	0.30	-	-		
1 広さ感・景観		2階署事務室・3階本部事務室: 天井高さ2.7m以上		4.0	0.33	3.0	-		
2 リフレッシュスペース		食堂(自販機あり)・厚生室・赤ちゃんの駅を含むレストスペース		5.0	0.33	-	-		
3 内装計画		職務遂行に重点を置いた計画		4.0	0.33	-	-		
1.3 維持管理				4.0	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計		内装床壁仕上材に防汚性の高い材を採用、外水切取付		4.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保		清掃員室に加え各トイレにSK設置、廃棄物保管庫設置		4.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性				4.3	0.30	-	-		4.3
2.1 耐震・免震・制震・制振				4.6	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		Qu/Qun ≥ 1.5		5.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.8	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		陶磁器タイル: 30年以上		5.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		一般: 亜鉛鉄板、多湿: ステンレス鋼板		5.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要な用途上位3種のうち、2種以上にB以上を使用、Eは不使用		5.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				2.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性				4.4	0.20	-	-		
1 空調・換気設備		換気・空調系統区分により負荷を下げた運転が可能		5.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備		節水型器具や受水槽に蛇口設置、汚水ピットを計画		4.0	0.20	-	-		
3 電気設備		非常用発電機、電源専用照明用電源設置		4.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法		2階以下KH1.5以上、3階以上KH2.0以上		4.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備		多様な通信手段を確保、地域無線・CATV・無停電装置UPS設置		5.0	0.20	-	-		

3 対応性・更新性			3.4	0.30	-	-	3.4
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高3.9m以上	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	0.1≦壁長さ比<0.3	4.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.0
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.7
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPI=0.67	5.0	0.20	-	5.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.10	-	3.0
3 設備システムの高効率化			BEI=非住宅 0.74 住宅(専用部) -	3.6	0.50	-	3.6
4 効率的運用				3.0	0.20	-	3.0
集合住宅以外の評価				3.0	1.00	-	-
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価				3.0	-	-	-
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.7
1 水資源保護				3.4	0.20	-	3.4
1.1 節水			節水型便器、擬音装置、自動水栓採用	4.0	0.40	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.9	0.60	-	3.9
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.10	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			エコセメント、製材	5.0	0.20	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			ビニル床材、フローリング、陶磁器タイル、再生クラッシュラン	5.0	0.20	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	0.10	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			OAフロア採用	4.0	0.20	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.7	0.20	-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避				4.0	0.70	-	-
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	現場発泡断熱材A種1、押出法ポリスチレンフォーム	5.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮			LCCO2低減率17%	3.6	0.33	-	3.6
2 地域環境への配慮				2.9	0.33	-	2.9
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.7	0.25	-	-
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮				3.2	0.33	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制				3.0	0.40	-	-
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制				4.4	0.20	-	-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	照明チェックリスト12/16項目該当、屋外広告物無し	5.0	0.70	-	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	